

登録コード	BSD91568	開講年度	2026				
授業題目	生体医工学特別実験（22BS以降）					担当教員	小関 道彦
英文授業名	Advanced Experiments in Biomedical Engineering					副担当	
単位数	4	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	実験	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素						【授業の達成目標】
	2026BSカリ，2025BSカリ，2024BSカリ，2023BSカリ						
	【専攻】環境調和社会，知識基盤社会を多様に支える健康・福祉・医療・創薬分野の高度な専門知識と実践的技術力					自らが取り組む生体の解析技術や計測技術に関する研究に関し、実験・検討を自ら行えるようになる。	
(2)授業の概要	生体の解析技術あるいは生体の計測技術に関して基本的な実験手法の解説を行い、実験実習を通じて実際の手法を修得する。						
(3)授業計画	毎週、研究の進捗状況に応じて実施内容を適宜修正しながら上記実験を実施する。						
(4)成績評価の方法	実験実習への取り組み態度、レポートやプレゼンテーションの内容を総合的に判断して評価する。						
(5)成績評価の基準	実験やシミュレーションの進捗に対し、下記の5項目を評価する。 ()問題の設定が適切か ()その問題にどのような課題があるのかを指摘できているか ()それらの課題を解決できる実験を計画できているか ()実験計画に基づき適切に実験を実施できているか ()実験で得られた結果に対して適切な考察ができているか 全ての項目を満たし、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。 全ての項目を満たしていれば「かなり上にある」。 4項目までできていれば「やや上にある」。 3項目までできていれば「合格水準にある」。						
(6)事前事後学習の内容	事前学習：有意義な実験を行うために先行研究調査やこれまでに得られているデータの分析を行い、適切な実験計画を立案すること。 事後学習：実験で得られたデータを踏まえ、次の実験計画を立案し、実施すること。						
(7)履修上の注意							
(8)質問,相談への対応	適宜対応する。						
(9)その他							
【教科書】	指定しない。（学生の研究テーマによる）						
【参考書】	指定しない。（学生の研究テーマによる）						